

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		リサイクル活動の推進				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名				
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度		
		[小 柱]					[事業開始] 平成 8 年度		
		[施 策]					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区立環境ふれあい館条例、東京都台東区立環境ふれあい館条例施行規則				
	事業対象	一般区民、区内在勤・在学者、区内で活動するリサイクル団体							
	事業目的	リサイクル活動団体の活動の核となる場を提供し、地域のリサイクル活動を有機的につなぎ支援・育成する。また、不用品の再利用を目的とした講座やリサイクルショップの運営を通じて、資源の再利用を促進し、循環型社会の形成に寄与する生活スタイルの定着を図る。							
	事業内容	・リサイクル活動室等事業運営委託 (1)リサイクル活動室の管理・運営(活動室及び貸出用備品の利用受付・貸出) (2)リサイクルに関する情報の収集・提供 (3)再利用講座情報等に関する広報誌の編集・作成 (4)再利用講座の企画・実施 ・リサイクルショップ等事業運営委託 (1)リサイクルショップの管理・運営(不用品の出品受付・展示・販売・精算業務) (2)リサイクル情報交換コーナーの運営(不用品の譲渡および譲り受け情報の提供業務)							
委託の有無	全部委託		委託内容	①リサイクル活動室等の事業運営 ②リサイクルショップ等の事業運営					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	再利用講座実施回数	回	142	127	143	142		
		リサイクルショップ受付件数	点	69,000	70,038	68,873	69,023		
	成果指標	再利用講座参加者数	人	900	859	901	892		
		リサイクルショップ販売点数	点	51,000	50,786	51,302	50,385		
	決算額 (単位：千円)				14,352	14,497	14,754		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			8,959	7,016	9,800		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			14,353	14,498	14,755		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			23,312	21,514	24,555		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			2,185	2,186	2,187		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			9	0	0		
		一般財源 (区負担額)			21,118	19,328	22,368		
前年度から改善した事項		施設備品の老朽化に伴い、備品の整備、修繕を行った。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	リサイクル活動室は、地域のリサイクル活動の場として根付き、リサイクルショップは、100%に近い受付状況が続いている。よって、リサイクル活動室及びリサイクルショップは、リサイクル活動を通じて暮らしのあり方を提案し、循環型社会の形成を推進していく上で、中心的な施設として大きな役割を果たしている。						
	効率性	3	リサイクル活動室及びリサイクルショップの運営は、任意団体への委託方式で事業を実施している。任意団体は、リサイクルに対する意識を持った区民で構成され、リサイクル活動を推進・啓発するための業務を適切に履行し、効率的な運営に努めている。						
	手段の適切性	3	リサイクル活動室及びリサイクルショップの運営は、行政主導ではなく、地域に密着して継続的に活動できるリサイクルに対する意識を持った区民で構成する任意団体に運営を委託している。よって、行政と任意団体が協働することにより、行政だけでは解決が難しい課題や多様化する区民ニーズに対応している。						
	目的達成度	3	再利用講座の参加者数は、全体を見ると目標値にほぼ達成しているが、講座の内容や場所によって参加者数が大きく変動している。また、夏休み等に子ども向けに開催している講座であっても子どもの参加者が少ないことが課題として挙げられる。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
不用品の再利用を目的とした講座やリサイクルショップの運営を区民からなる任意団体と協働して実施した。今後もリユースを推進し、循環型社会の形成に寄与する生活スタイルの定着を図っていく。						維持			